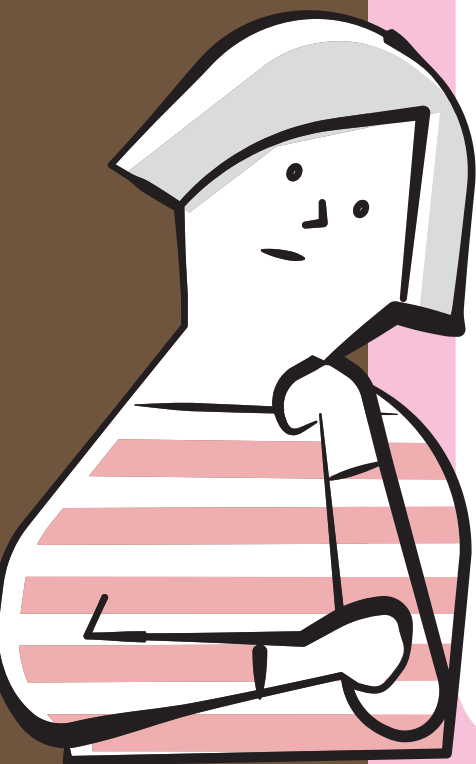


学生と生活困窮



【開催目的】若者支援団体や学校関係者、行政機関等と学生支援に向けたネットワークの構築を目指す。

【開催概要】コミュニティワーク研究実践センターでは、2025 年度から赤い羽根福祉基金の助成を受け、大学生・専門学校生等を対象に、学生緊急避難スペース（シェルター）や学生向けシェアハウスを設置し、学生向けの居住支援に取り組んできました。

相談に来る学生は、社会的養護経験者、家族からの暴力・暴言を受け避難を必要としている方、家族に対して暴力を抑制出来ない方など様々です。また、奨学金の利用についても活用している方、活用が難しい方などもあります。また、精神疾患等を抱えている方もおり、アルバイトをすることが難しい方もいます。そのため、避難はしてきたものの、学業を継続しながら、経済的に自立することが難しく、自宅に戻ることを選ぶ学生もいます。困窮した学生を支える公的な支援はほとんど無いのが現状です。本企画では、「学生と生活困窮」をテーマに、現状の課題について共有し、今後どのような支援策が必要か？学校・民間・行政がどのように連携していくべきかについて、参加された皆さんと一緒に考えていきます。

日時 2026 年
10月4日(日) 13:30～17:00

場所 市民活動プラザ星園 2 階 大会議室
(札幌市中央区南 8 条西 2 丁目)

★定員／ 50 名 (ZOOM 参加も可能)

■原則、会場集合型とします。(ZOOM での参加も可能です)

※ZOOM 配信アドレスについては、開催 3 日前までに、オンライン参加希望者にお知らせします。

プログラム

1. 【基調講演①】「学生と生活困窮」

登壇者：大野 慶 氏 (長野県立大学 子ども学科 助教)

2. 【基調講演②】

「社会的養護経験者によるアクション リサーチ事業の概要と経過」

登壇者：豊島 海生 氏

(札幌学院大学 人間科学科 フクボラ代表 WHOCARES アクションリサーチ事業責任者)

3. 「学生向けユースサポートハウス活動報告」

検証会議：座長 山内 太郎 氏

4. グループワーク：

「学生支援の課題とそれぞれの立場で何が出来るか」

5. まとめ



赤い羽根
福祉基金

※本シンポジウムは、2026 年度中央共同募金会「赤い羽根福祉基金」の助成を受け実施しています。

学生と生活困窮

参加を希望される方は、9月29日(火)までに
申込みフォームよりお申込み下さい。



<https://forms.gle/yiRfdvFAkS5z4ESJ8>



会場

市民活動プラザ星園 2階 大会議室
札幌市中央区南8条西2丁目5-74

最寄駅

地下鉄東豊線 豊水すすきの駅6番出口 徒歩5分
地下鉄南北線 中島公園駅1番出口 徒歩5分

駐車場がありませんので公共交通機関をご利用頂くかお車でお越しの際は近隣の有料駐車場をご利用下さい。

問い合わせ

NPO 法人コミュニティワーク研究実践センター

電話 [担当者直通] : 080-3265-8832 (湯澤・平内)

メール : sumaisoudan@cmtwork.net

